

PERIHELION PHASE CHANGE GREASE

MNM-PTMG-H79X2

クイックスタートガイド

■取扱上の注意事項■

①本製品は液状にするために溶剤を混ぜ合わせています(本来の性能に変化はございません)。グリス塗布後に溶剤を揮発させるために **5 時間ほどの乾燥時間が必要**となります。また、溶剤の揮発分を考慮して通常よりやや厚く塗布する必要があります。(塗布方法参照)

②相変換素材の最大性能発揮までに**熱を加えて馴染ませる必要があります**。

60~80°Cの負荷運転を 10~20 サイクル繰り返すことで安定した熱伝導を得られます。

■塗布方法■

①脱脂

CPU 表面及びヒートシンクの接触面をクリーニング液等にて油分を拭き取ってください。古いグリスが残っている場合は完全に拭き取ってください。拭き取った後は手で触らないように注意してください。

②養生(1 回目)

相変化によりグリスが広がるため、外側に溢れ出ない様に塗布量を調整するためマスキングテープ等で養生します。ヒートスプレッダへの塗布の場合は、塗布可能な外周から 3-4mm 塗布しない様に養生する。
(ダイレクトダイの場合は 0-1mm)

③養生(2 回目)

溶剤の揮発分を考慮して通常より少量厚く塗布する必要があるためマスキングテープの厚み(表記上)がおおよそ 0.15~0.18mm になる様に、1 回目に重ねて養生を施して調整してください。

④塗布

シリンジから適量※1 出し、付属ヘラ等で伸ばします※2。
※1 通常よりもやや厚めに塗布が必要なため、一般的な塗布量の 1.5 倍目安
※2 塗布自体は全くの均一でなくても問題ありません。
バーンイン過程で相変化により均一化されます。

⑤乾燥

溶剤を乾燥させる(約 5 時間)

※溶剤の乾燥を待たなくても利用自体は可能ですが、メーカー仕様は必須項目です。

⑥CPU クーラーを装着する

⑦電源投入後、バーンイン実施

60°C以上の負荷運転を 10 サイクル程度実施してください。

